

BULLETIN OF THE FACULTY OF
HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No. 17 February, 2021

CONTENTS

Rika OCHIAI : A Questionnaire Survey of Caring for Children with Special Needs in Classroom by Nursery Teachers	1
Mami OMOTE : Modern family and their education from the perspective of childcare workers: An analysis of comments in the questionnaire survey on family education.	13
Takeshi SAKAI, Hideyuki AKAI : Study on the Development of Teaching Materials Utilizing Technology in Mathematics Education —Based on the Case of Singapore—	23
Sadao SHIMIZU, Kunihiko TAMAMURA : From home care to community care for persons with muscular dystrophy by Tokyo association of muscular dystrophy: World of the films of “Fight against incurable disease (Nanbyototatakau)” and “Lives with Fiends (Ikirunakama)”	35
Kuniyoshi TAKIGAWA : Learning Environment Design and Trend in Educational System for the Formation and Implementation of Curriculum at School for Children with Health Impairments	47
Shuji MITOBE : Elucidation of the practical situation of elementary school Japanese language class in Okinawa Prefecture and the driving factors for class improvement —Summary of four years of research—	57
Junji MIYANO : Promotion of Education for Sustainable Development in German Primary Education —Approach to Global Action Programme on ESD—	69
Naoko MURAI : The Concept of Pedagogy in van Manen: Through a Re-examination of the Vocabulary of Pedagogy	79
Yasuyuki IWASAKI : Roles of Principals and Middle-Leader Teachers Who Try to Activate “the Integrated Studies” in Junior High School	91
Naoko OKAWA, Natsuki OKUMURA, Keita TANOUE : Survey on the actual situation of sexual guidance and examination of the future sexual guidance	103
Keiko ARAKAWA : A Proposal for Appreciating Education in a High School Music Teacher Training Course —Through Active Learning to Compare the Performance of Original and Modern Instruments—	111
Nami GAHABKA : The vocalizing guide method in singing —An ideal method of effective chorus guidance—	121
Yoshiko URYU : Is the Current Plan for Paternity Leave a Fundamental Reform of Japan’s Childcare Leave System?	131
Noriko OKABAYASHI, Hitomi SANO, Yasuko SAKAI, Kayo MINAMI, Nao YAMASAKI : Developing a Programme That Links Musical Education in Kindergarten and Elementary Schools —focusing on the use of “Gion Bayashi” as a teaching material—	143
Takahito KUROHARA, Katsuhiko HIROSE : A Study on the Curriculum Management of the Preschool Education in Focusing on Content of “Health”	153
Tamana SESEKURA : Home Visiting for Infants and Parents by Clinical Psychologists : Interviews in UK	163
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME : Development of Teaching Materials Using <i>Mokuiku</i> in Childcare and Educational Practices for the Cooperation between Kindergarten and Primary School Education II: Results of a Questionnaire Survey to Child Carers	171

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 17 号

令和 3 年 2 月

発
達
教
育
学
部
紀
要

第
十
七
号

令
和
三
年
二
月

京
都
女
子
大
学
発
達
教
育
学
部

落合利佳：「気になる子」に関する保育者の意識と支援の実態 —保育所アンケートからクラス構成に着目して—	1
表 真美：保育者からみた現代の家族と家庭教育 —自由記述の分析から—	13
坂井武司・赤井秀行：算数教育におけるテクノロジーを活用した教材の開発に 関する研究 —シンガポールの事例をもとに—	23
清水貞夫・玉村公二彦：東京進行性筋萎縮症協会における在宅ケアから地域 ケアへの歩み —映画『難病と闘う』及び『生きる仲間』の世界—	35
滝川国芳：病弱教育における教育課程の編成と実施のための学習環境 デザインと教育制度の動向	47
水戸部修治：沖縄県における小学校国語科の実践状況と授業改善の 推進要因の解明 —4年間の研究の整理—	57
宮野純次：ドイツ初等教育における持続可能な開発のための教育（ESD） の推進 —ESDグローバル・アクション・プログラムの取り組み—	69
村井尚子：ヴァン＝マナーンのペダゴジー論 —ペダゴジーの語彙の再検討を通じて—	79
岩崎保之：中学校「総合的な学習の時間」を活性化させる 校長及びミドルリーダー教員の役割	91
大川尚子・奥村菜月・田之上啓太：性に関する指導についての実態調査と これからの性に関する指導の在り方の検討	103
荒川恵子：高等学校音楽科教諭養成課程における鑑賞教育への提案 —オリジナル楽器とモダン楽器の演奏比較によるアクティブ ラーニング—	111
ガハプカ 奈美：歌唱における発声指導について —合唱指導のあり方—	121
瓜生淑子：育児休業制度の充実の課題（3） —ひとり歩きする男性の取得率目標—	131
岡林典子・佐野仁美・坂井康子・南 夏世・山崎菜央： 幼小をつなぐ音楽教育のプログラム開発 —「祇園囃子」を教材として—	143
黒原貴仁・廣瀬勝弘：領域「健康」に着目した幼児教育の カリキュラム・マネジメントに関する一考察	153
瀬々倉玉奈：心理職による家庭訪問に関する調査の再検討 —英国における対話的インタビュー調査の内容分析—	163
矢野真・田爪宏二：幼小連携のための保育・教育実践における 木育教材の開発Ⅱ —保育者を中心としたアンケート調査の結果から—	171
：	
修士論文・卒業論文題目	183

令和2年度

大学院発達教育学研究科 修士論文題目

〈教育学専攻〉

- 中川 あかり 過去を振り返り、未来を見据えるリフレクションを用いたキャリア教育のあり方に関する一考察
- 溝上 彩 食育が児童の給食に対する態度に及ぼす影響

〈心理学専攻〉

- 井谷 詠夢 マインドフルネス特性と実行機能との関連
- 江口 奈津子 言語隠蔽効果に及ぼす大域・局所処理の影響について
- 亀田 みなみ 不合理な信念が援助要請意図に与える影響
—利益とコストの予期に着目して—
- 久田 温子 青年期におけるノスタルジアと人生の意味との関連性

〈表現文化専攻〉

- 今村 優花 異言語における歌唱法の一考察
～ミュージカル《THE PHANTOM of the OPERA》より〈Think of Me〉を題材に～
- 趙 穎妍 コンテンポラリーダンス作品の創作過程における反省的实践についての研究
—振付師とダンサーの相互作用による動きの質の変化に関して—
- 馬場 優旅 フリデリク・ショパン《24の前奏曲》Op. 28に関する一考察

〈児童学専攻〉

- 渡邊 雅子 幼児における体脂肪に影響を及ぼす要因の検討

注) このリストは令和3年1月20日に提出された修士論文題目に基づいて作成しています。

令和2年度

発達教育学部教育学科 卒業論文・制作題目

教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
秋田 真帆	多面的な見方や共感性を育成する異文化理解学習の開発 ―第6学年単元「イタリアと日本の食文化」を事例にして―	(松岡)
浅野 さやか	怒りと上手に付き合うことができる生徒を育む学級活動 ―小中連携をふまえたアンガーマネジメントを通して―	(富村)
東 史香	読解力向上のための授業づくりに関する研究	(水戸部)
新井 優未	スマートフォンが乳幼児に与える影響と「スマホ育児」に関する研究	(岩槻)
荒巻 采音	日本におけるリカレント教育の課題と展望を探る ～海外との比較を通じて～	(岩槻)
伊木 海音	公正と向き合う個人 ―ボランティアの可能性―	(宮崎)
石井 杏菜音	女子大生とダイエット ―痩せ志向と経験から―	(大橋)
井手本 佳奈	郷土料理を題材とした食育の指導	(表)
入江 くみ子	PPDAC による統計教育の改善に関する研究	(坂井)
岩崎 わかば	自然体験活動を取り入れたおもしろく、楽しい授業づくり	(宮野)
上田 千鶴	読むことの指導の現状と課題を踏まえた授業構想の提案 ―説明的文章の指導―	(水戸部)
氏次 春菜	現代社会における自己形成の変容とそれに伴う教育支援の見直しの必要性について ―キャリア教育と若者像の乖離についての検討―	(宮崎)
内海 吹雪	「思いやりの心」を育む学級経営 ―相手の気持ちになって考えることを促す学級活動の開発を通して―	(松岡)
逢坂 祐衣	自己有用感の高い児童を育む係活動 ―「学級活動サポートファイル」を活用した話し合い活動と振り返り活動を通して―	(富村)
太田 侑里	自然体験活動とそれを支える教育的環境	(玉村)
大東 実穂	チーム援助の在り方 ―均質性協働と専門性協働の観点から―	(谷川)
大森 彩花	乳幼児の「健康」と生活習慣との関連 ―現代の子どもの睡眠・食・遊びに着目して―	(玉村)
奥村 恵利薫	育児不安を抱える母親への支援に関する研究 ―虐待を防ぐために―	(岩槻)
小野 結香	インクルーシブ教育の実現のための ICT 活用方法について	(谷川)
片山 梨子	防災意識の向上を目指す「総合的な学習の時間」のカリキュラム開発 ―大阪市の「防災・減災教育モデルカリキュラム」の検討を通して―	(松岡)
勝本 心美	プログラミングソフトの活用に関する研究	(坂井)
鎌田 和沙	読む力を育成する国語科の交流活動の在り方に関する研究	(水戸部)
神近 靖佳生	母娘関係と過保護・過干渉な家庭の自立支援	(玉村)
掃部 早希	幼児教育番組の体操の考察	(大橋)
川岸 奈々美	小学校国語科教育における読解力を高める音読指導の在り方に関する研究	(水戸部)
木下 愛	五感を通して学ぶ環境教育 ～「聴覚」を活かした保育実践～	(宮野)
久保 佑香里	児童福祉から子ども家庭福祉への転換と行政の関わり方	(谷川)

黒川 菜々香	いじめ防止のための「特別の教科 道徳」の授業開発 — KiVa プログラムの検討を通して—	(松岡)
桑田 麻美子	小学校におけるインクルーシブ教育 ～イギリスとフィンランドの事例から学ぶ～	(玉村)
桑山 奈々美	部活動の在り方について ～教育的意義と教員の働き方改革をふまえて～	(谷川)
小西 里奈	幼児の非認知的能力を育むごっこ遊び —環境整備と対話に着目して—	(富村)
小林 あずさ	小学校体育科における準備体操及び準備運動の実態とよりよい導入の検討	(大橋)
小林 千紘	自己肯定感の高い児童を育む学級活動 —児童会活動後のグループ活動における振り返りを通して—	(富村)
小山 紗友美	小学校国語科教育における絵本の活用	(水戸部)
酒井 菜緒	思いやりあふれる子どもが育つ環境とは —幼児期における思いやりの育み方—	(村井)
島村 優花	栽培を通じた食育の海外比較 ～日本・アメリカ・フランス～	(宮野)
杉野 里瑚	「グレーゾーン」の児童の支援について	(玉村)
鈴木 咲世	学習障害を持つ児童生徒の支援の在り方について	(玉村)
角田 尚子	栽培活動を取り入れた食育・環境教育の授業づくり	(宮野)
高居 咲希	インスタグラムが大学生の食生活に及ぼす影響	(表)
高木 美里	自分らしいキャリアデザインの在り方	(大橋)
高津 文音	外国人児童生徒を取り巻く環境と学びの支援体制	(玉村)
竹田 彩乃	そろばん教育の国際比較に関する研究	(坂井)
武田 成美	文学教材における演劇的言語活動の展開 —ドラマ教育の技法を用いて—	(玉村)
玉木 志歩	アサーティブなコミュニケーションができる児童を育む関連的な指導 —アサーショントレーニングと総合的な学習の時間における DESC 法に着目して—	(富村)
坪田 薫子	幼児教育における絵本を読みあう活動と絵本の読みあい遊びについて	(村井)
中井 琴子	ICT 教育の国際比較に関する研究	(坂井)
中井 理加	児童の読む力を育成する国語科の授業の在り方に関する研究	(水戸部)
中井 優菜	「英語嫌い」を低減するための小学校英語科の授業開発	(松岡)
中嶋 梨々香	コミュニケーションを豊かにする小学校英語教育の授業改善 ～韓国の英語カリキュラムとの比較を通して～	(松岡)
中谷 美美佳	不登校の要因に着目したこれからの学校教育のあり方	(松岡)
仲谷 美乃里	人のつながりが自殺予防に与える影響	(岩槻)
中東 真子	遊びを通して育まれる協同性について	(村井)
中村 咲月	小学校における自然体験教育の実践 —びわ湖フローティングスクールとあつまれどうぶつ森を事例に—	(宮崎)
中村 奈月	子どもの外遊びに対する大人の意識に関する研究	(岩槻)
長坂 知音	発達障害者の音楽指導について ピアノ教室での指導と学校教育から考える	(落合)
名原 遼	教員養成におけるリフレクションの重要性 —学生の教職専門性の育成のために—	(宮崎)
苗代 彩乃	集団生活の中で思いやり行動ができる児童を育む道徳の授業 —道徳的価値観の深まりを追究する活動を通して—	(富村)
西尾 彩和	小学校における外遊びに関する研究	(大橋)
西村 衿香	幼児期における英語教育の在り方	(村井)
西脇 めぐ	社会階層による学力格差の実態と背景に関する考察 ～文化資力格差に注目して～	(岩槻)
野田 依里	多くの子どもが触れ合える動物の飼育	(宮野)
野津 裕子	子どもにとって居心地のよい学級集団にするには	(村井)
福嶋 稀	乳幼児向け玩具の存在意義に関する研究	(岩槻)
藤村 弥央	女子大生の理想のライフプランについて	(大橋)

卒業論文題目

藤原 友香	絵本と子どもの人間関係の育ち	(村井)
古川 莉穂	リズム教育について ―幼児期から小学校低学年までを中心に―	(難波)
星加 瑠佳	自己肯定感を高める学級経営	(表)
堀江 瑠奈	多様性の尊重につなぐためのすべての子どもを個として捉える教育 ―ジェンダーフリー教育の考察から―	(谷川)
牧 穂乃花	児童の「生きる力」を豊かにするための自然学校を通した学びの育成	(宮野)
松下 萌	外国にルーツを持つ児童の課題から見る学校教育のあり方	(谷川)
松田 朋夏	「書くこと」の授業のあり方に関する研究	(水戸部)
松村 佐和	小学校理科における ICT の活用	(宮野)
松村 莉子	地域に根差した学校づくり ～京都市と福井県の事例を通して～	(谷川)
三浦 果歩	FonF と CLIL を取り入れた英語教育 ～異文化間教育を意識して～	(宮崎)
三浦 英恵	平成29年度版学習指導要領における言語活動を位置づけた国語科の授業づくり	(水戸部)
水上 由賀	アフリカの教育開発と国際協力 ―平和構築に向けた参加型開発の可能性	(宮崎)
溝口 莉央	幼児期における自然との関わりとその影響 ～森のようちえんを中心として～	(宮野)
光浪 夕莉	規範意識の高い児童を育む学級活動 ―相互評価を取り入れた PBIS を通して―	(富村)
光畑 里沙子	教育と福祉から今後のインクルーシブ教育を考える	(落合)
宮下 琉花	多様性を認め合えるための教育 ～セクシュアルマイノリティの子ども達を通して～	(谷川)
森 彰子	現代におけるストレス・マネジメント教育の必要性 ～発達障害児に焦点を当てた考察～	(村井)
森崎 結実子	就学前教育と小学校教育での円滑な学びの接続を可能とする授業づくり ―第1学年算数科と生活科の合科的指導の検討―	(村井)
森野 怜奈	オノマトベがもたらす体への影響 ―オノマトベを用いた幼児の運動遊びの指導法について―	(大橋)
森山 佳那子	学習者の関心に応じた音楽鑑賞教育 ―日常生活への影響を重視して―	(宮崎)
山崎 日南子	児童の自己肯定感を高めるための学級における働きかけについて	(大橋)
山本 詩織	日本における LGBT に関する教育についての現状と課題	(岩槻)
山本 実季	自己内対話を重視した読書活動 ―ハーマンスによる対話的自己論を主軸として―	(宮崎)
百合 美里	創造的思考を育成するプログラミング教育 ～MESH を活用した「総合的な学習の時間」の授業づくりを通して～	(松岡)
横山 日向	意欲的に学習や普段の生活に取り組もうとする児童を育む教科等横断的な指導―学級活動と遠足の行事を効果的に関連付けた教科等における工夫に着目して―	(富村)
吉澤 七海	発達障害が引き起こす、児童虐待	(落合)
和田 真奈	卒業制作 『さくらちゃん、あのね』・『あおいちゃんの すき』 報告文 性の多様性に触れる絵本の研究 ―小学校における人権教育の視点から―	(山野)
國久 夏花	日本における学校教育と掃除	(福永)
長井 美樹	貧困の子どもたちを対象としたキャリア教育	(表)

心理学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
足立 わかば	友人関係における“キャラ”と学校適応感の関連について	(稲塚)
荒木 万結	女子大学生の承認欲求と Instagram 使用傾向との関連	(下津)
石塚 芽依	トライフォビア反応における皮膚病の想起に関する検討	(箱田)

磯 貝 莉 緒	自己意識とパーソナリティおよび相手との関係性が自己隠蔽傾向に与える影響について	(吉村)
今 村 ゆ き	大域処理・局所処理は認知スタイルに影響を与えるのか	(箱田)
岩 井 茜	大学生のレジリエンス要因とソーシャルスキルの関連から適応感に及ぼす影響	(稲塚)
上 田 千 夏	メロディーにおけるプロトタイプ抽出実験の再検討	(箱田)
内 田 結 実	大学生における楽観性と代替的な目標の抑制との関連 一部活動場面に着目して一	(広瀬)
大 坪 美咲貴	他者のユーモア表出に対する評価と不安・抑うつおよびソーシャルサポートについて	(吉村)
大 西 美 景	精神的健康とインターネット依存の媒介要因についての検討	(岩原)
大 西 萌 絵	ノスタルジアとウェルビーイングとの関連性にゆりし傾向性が及ぼす影響	(岩原)
岡 崎 昌 子	情動的ストレスが言語隠蔽効果に及ぼす影響について	(松浦)
加 藤 菜々子	匿名性と他者存在が言語的攻撃に及ぼす影響	(吉村)
河 内 久 子	大学生における身体運動習慣とHSP およびストレスとの関連	(広瀬)
絹 山 由 華	凶器注目効果と凶器の熟知性の関係性	(箱田)
木 村 佐 来	女子大学生における家族関係と愛着傾向及び愛着傾向と抑うつとの関連についての検討	(下津)
桑 野 真由子	比喩表現が表す性格特性に関する研究	(広瀬)
才 川 萌 香	顔の表情と言語情報における単純接触効果について	(吉村)
阪 口 果 菜	女子大学生における居場所環境と自我同一性の関連	(稲塚)
瀬 尾 ななみ	女子大学生の規範意識および生活の質と強迫傾向との関連	(下津)
曾我部 小 雪	レジリエンスが主観的幸福感に及ぼす影響 ～感情調節の媒介効果の検討～	(岩原)
田 中 見 空	友人関係における“キャラ”と公的自己意識および拒否されたくない欲求・賞賛されたい欲求との関連	(片岡)
谷 口 慶	シュークリームの再認における言語隠蔽効果の検討	(箱田)
田 宮 沙希子	女子大学生のストレスと瘦身願望および食行動との関連についての検討	(下津)
千 馬 菜 月	セルフ・ハンディキャッピング傾向と自尊心が成功場面と失敗場面の気分変化に与える影響について	(吉村)
鶴 田 祐希穂	自己開示の変化と養育者の養育態度が精神的健康に及ぼす影響について	(片岡)
所 美 華	しぐさの程度が話し手の説得力と印象形成に及ぼす影響	(広瀬)
友 兼 莉 緒	外出自粛期間中の余暇活動と外向性が生きがい感に与える影響について	(松浦)
土 肥 真 凜	自己意識及び親子・友人関係が自己肯定感の発達の变化に及ぼす影響	(片岡)
中 井 桃 華	女子大学生の自己愛及び自尊心と友人関係機能の関連	(下津)
中 城 穂 波	共感性の認知的成分および感情的成分と向社会行動との関連の検討	(岩原)
中 西 結 香	中学生の共感性が怒りの対処方略に及ぼす影響について	(下津)
西 澤 瑞 記	養育者との親密性と精神回復力・精神的自立との関連について	(片岡)
野 上 阿 瑚	女子大学生における身体的魅力と自己肯定感との関連	(片岡)
野 原 玲 香	意図的／非意図的マインドワンダリングと創造性の関連について	(箱田)
走 出 洋 子	自尊感情が well-being に及ぼす影響	(岩原)
檜 垣 郁 美	マインドフルネスと楽観性・悲観性と well-being との関連	(岩原)
久 岡 希 望	親子関係における役割逆転と過干渉が特性罪悪感に及ぼす影響 ～自尊感情・自律性欲求に着目して～	(松浦)
平 井 春 佳	蛇の頭部は凶器注目効果の「凶器」になりうるか？	(箱田)
平 岡 伽奈子	マインドフルネスと注意機能の関連性についての検討	(岩原)
布 川 奈 於	女子大学生における不安と家族関係との関連	(広瀬)
福 知 由佳子	社会的比較に関する嫉妬及び社会的関係に関する嫉妬と対人関係の関連についての検討	(下津)

卒業論文題目

福本 有咲	好きな音楽の性質と気分による聴取程度・好感度との関連	(松浦)
前橋 有沙奈	女子大生の被服による自己表現欲求とそれに関連する要因について	(吉村)
町田 早綾	両親の夫婦間葛藤に関する認知と子どもの抑うつ及び学校適応感の関連 —青年期女子の場合—	(稲塚)
松田 のどか	児童期の母親からの言葉かけが女子大学生の日常生活演技行動に及ぼす影響について	(吉村)
松本 楓	女子大学生の有能感の4タイプと攻撃性との関連 ~言語的攻撃性と関係的攻撃性に着目して~	(下津)
松本 乃彩	女性によるリップメイクと自意識・他者意識との関連について	(片岡)
松本 美穂	コンパニオン・アニマルと幸福感に関する研究	(広瀬)
松本 莉穂	嘘の種類と嘘に対する意識	(吉村)
丸山 ちひろ	児童期の食事風景が現在の心理的結合性に及ぼす影響について	(片岡)
三ッ井 加菜	冗談関係の認知と攻撃的ユーモアの表出動機との関連	(松浦)
村端 風香	両親の夫婦関係に関する認知と家族機能の認知が子供のパーソナリティに与える影響	(片岡)
森 佳那	自己愛傾向がアイロニーの受け取り方に与える影響	(松浦)
森田 優希	子ども時代の母親の養育態度と女子大生の心理的健康および自立との関連	(稲塚)
森山 千聖	友人関係における自己開示と孤独感の関連性	(稲塚)
安本 汐里	説得における TP とメッセージの圧力が受け手の受容と抵抗に及ぼす影響	(箱田)
山田 萌枝	就職活動と自己変容に対する志向性の関連 —進路決定と進路意思決定の困難さの観点から—	(稲塚)
山根 帆乃夏	児童期の親の言葉かけが自動思考に及ぼす影響	(松浦)
吉岡 実咲	空想傾向がウェルビーイングに及ぼす影響 ~没入の調整効果の検討~	(岩原)
綿貫 友香	接近および回避動作が接近回避志向に及ぼす影響	(広瀬)
和田 陽奈	共感性・自尊感情が対人葛藤方略に与える影響	(松浦)

音楽教育学専攻

学生氏名	卒業論文・卒業制作題目	所属ゼミ
赤木 美紅帆	アルベニス《イベリア》に関する一考察 ~〈エル・プエルト〉〈エル・アルバイシン〉を中心に~	(土居)
秋道 瑠香	ヴェルレーヌの詩に基づく歌曲研究 —「空は屋根の彼方にある」における言葉と音楽の関連性—	(田崎)
伊賀並 公佳	自作品 交響詩《新海》について ~劇伴の視点から~	(佐藤)
石垣 逸馨	F. ショパン《舟歌 嬰へ長調》Op. 60に関する一考察 ~楽曲分析と演奏解釈~	(大谷)
岩崎 沙南	オペラ《Cosi fan tutte》より〈Una donna a quindici anni〉, 〈E amore un ladroncello〉の歌唱における一考察	(ガハブカ)
大迫 美結	N. カプースチン《24の前奏曲》作品53に関する一考察 ~ジャズとクラシックの融合~	(大谷)
小川 杏佳	オペラ《フィガロの結婚》よりアリア〈自分で自分が分からない〉〈恋とはどんなものかしら〉における一考察	(ガハブカ)
奥田 愛	R. シューマン作曲〈女の愛と生涯〉と C. レーヴェ作曲〈女の愛〉の作品比較 ~第3篇と第5篇を中心に~	(田中)
垣内 秀美	中田喜直作曲《夏の思い出》《歌をください》の演奏表現について	(田中)

加 島 成 美	アニメーション音楽の変遷に関する一考察 ～「ドラえもん」(1979-80年, 2005-06年)の背景音楽の比較より～	(田崎)
亀 井 風 奈	自作曲 女声合唱曲《まばたく木》について	(佐藤)
亀 井 梨 乃	フランツ・リスト《ハンガリー狂詩曲第12番》に関する一考察 ～ジプシー音楽特有の音色における表現を考える～	(土居)
河 井 彩	マーチ《Memories of Youth～青春の思い出～》について ～新しいマーチの形式～	(佐藤)
川 江 有 紗	保育におけるリトミックの役割と指導法	(関口)
川 上 萌 花	〈Frühlingsglaube〉〈Romanze〉の歌唱における一考察 ～同じ詩のドイツリート の分析を中心に～	(ガハブカ)
酒 卷 怜 香	共同体の歌としての校歌を考える —三田学園の校歌に焦点を当てて—	(荒川)
坂 本 莉 奈	F.リスト《2つの伝説》より 第2曲〈波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ〉 についての一考察	(土居)
重 乃 優 実	小学校の課外における合唱活動の指導法	(関口)
神 野 明 音	中田喜直・大中恩による『はなやぐ朝』の比較	(田中)
杉 村 優 衣	ヘンデル《ハーブシコード組曲シャコンヌト長調 HWV435》についての一考察	(土居)
田 口 茜	鍵盤ハーモニカのための組曲《生活》について	(佐藤)
竹 村 七 音	R.シューマン《アレグロ》Op.8に関する一考察	(土居)
田 中 鈴 菜	インクルーシブ教育における音楽実践	(関口)
團 野 奏 愛	音楽と絵画の関連性に関する一考察 —ドビュッシー《映像》第1集より〈水の反 映〉とモネ『睡蓮』の連作を中心に—	(田崎)
豊 田 智佳子	中学校吹奏楽部の現状 ～文化庁「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドラ イン」(2018年)策定後の兵庫県中学校吹奏楽部を例に～	(田崎)
中 瀬 千 裕	プーランク《主題と変奏》FP 151に関する考察	(大谷)
中 田 有 香	山田耕伴《愛と祈り》《みぞれに寄する愛の歌》の分析と歌唱表現について	(田中)
中 村 日向子	M.プレトリーウス『音楽大全』にみるコロラトゥーラ唱法の傾向の一考察 —《使 者たるポリヒムニア 平安と歓喜の祝祭》を用いて—	(田崎)
藤 本 奈 都	日本におけるCM音楽の変化と社会 ～大塚製薬株式会社の事例を通して～	(荒川)
松 下 萌 香	A.スクリャービン《ピアノソナタ第3番嬰へ短調》Op.23に関する一考察	(大谷)
松 野 実 茉	『スター・ウォーズ』における映像と音楽 —ライトモチーフによる物語世界の構 築について—	(荒川)
皆 岡 智香瑠	オペラ《SERSE (セルセ)》より 〈Ombra mai fu (かつて木陰ほど)〉〈Va godendo (愛らしく美しい小川は)〉の歌唱表現について	(田中)
向 井 友 梨	音楽様式と歌詞に着目した国歌の分類と特徴 —ヨーロッパを中心として—	(関口)
村 上 明 莉	21世紀の音楽聴取に関する一考察 —音楽におけるサブスクリプションサービスが 日本の音楽業界に与えた影響をめぐって—	(荒川)
若 林 美 和	ヘンデルのオラトリオ《メサイア》 第15・16・18曲の一考察	(ガハブカ)
尾 松 友理子	小学校音楽科における常時活動に関する一考察 —〔共通事項〕に着目して—	(関口)
佐 藤 晴 香	登場人物の心情変化とそれを踏まえた歌唱表現の一考察 —ミュージカル《レ・ミ ゼラブル》より〈I DREAMED A DREAM〉〈ON MY OWN〉—	(ガハブカ)
田 所 茉 侑	日本の音感教育への一考察 —学校の音楽科授業において移動ド唱法がなぜ根付か ないのかをめぐって—	(荒川)
中 村 優 花	モーリス・ラヴェル《鏡》のペダリングに関する一考察 —第2曲〈悲しい鳥た ち〉と第3曲〈海原の小舟〉を題材に—	(大谷)

卒業論文題目

森 川 日菜乃 木管五重奏におけるホルンの役割 ～ミヨー作曲《ルネ王の暖炉》作品205の考察から～ (田崎)

令和2年度

発達教育学部児童学科 卒業論文・制作題目

学生氏名	卒業論文・題目	所属ゼミ
青谷 奈津実	実践報告から見る想像的探検遊びの展開 —保育者の援助を主眼に—	(上月)
青山 萌花	絵本『ノントンがんばるもん』の音楽制作	(神原)
赤松 優衣	乳幼児とシュタイナー教育	(神原)
有田 朋加	子どもにとって昔話を他のメディアで楽しむ意味についての考察 —「三枚のお札」を例に—	(今田)
井内 茉子	自尊感情を育む保育 —「気になる子」を中心に—	(黒田)
家城 歩弓	子どもとその養育者に対する保育士の関わりが子ども・養育者間のアタッチメントの安定性に与える影響	(古池)
五十嵐 真夕	絵本に関するジェンダー研究の再考 —ミリオンぶっく2015の再分析から見えた課題点—	(黒田)
石原 菜都	保育学生の進路変更が幸福感に及ぼす影響 —本学科4回生へのアンケート調査から—	(瓜生)
稲田 生	絵本「わんぱくだん」シリーズからうまれる想像的探検遊び —幼年文学を用いた保育実践の検討—	(今田)
井之上 絢香	水遊びを促進する木育玩具 「びちゃ ぼちゃ じゃばじゃば」	(矢野)
岩本 扶実子	遊び歌〈はないちもんめ〉に関する一考察	(神原)
上田 咲紀	女子学生における骨量と体格・体組成との関連性	(間瀬)
上野 茉莉香	保育現場における構造化支援の実態 —保育所・幼稚園での違いに着目して—	(倉本)
薄井 ひなた	食育に繋がる野菜絵本の表現方法 —「かがくのとも」として出版された24作の野菜絵本の分析—	(今田)
大江 奈々	季節を感じて五感を育む立て掛け玩具制作	(岡林)
大原 幸雪	女子学生における骨量と体格・体組成との関連性	(間瀬)
大家 萌花	幼少期における美術館訪問の頻度が大学生の美術への態度とパーソナリティに与える影響 —美術鑑賞・造形表現への態度及び自尊感情についての検討—	(古池)
岡崎 彩乃	子どもの感性をはぐくむ音環境に関する研究	(神原)
岡田 千波	保育現場における「気になる子ども」の保護者支援について —近年の調査・事例研究からの検討—	(倉本)
岡部 汐央里	リカちゃん人形に含まれるジェンダー	(松崎)
小川 菜央美	木育・花育による心身の発達を促す玩具 「木もくフラワー号」	(矢野)
尾嶋 真歩	「がまくんとかえるくん」シリーズの作品研究 —アーノルド・ローベルが伝えたかったこと—	(松崎)
織田 愛加	乳幼児とシュタイナー教育	(神原)
鹿嶋 しづか	本学児童学科学学生の結婚観について —希望(決定)進路の違いから—	(瓜生)
柏谷 百花	子どもを取り巻く音楽状況に関する一考察 —音楽聴取形態の変化と流行する歌に着目して—	(岡林)
梶村 紗希	きょうだい間の性格の類似性及び親密度がきょうだいの対人魅力に与える影響	(古池)

卒業論文題目

加藤 ちひろ	幼児期における大きくなっただけならなりたいたいもの ―性差と職業観のステレオタイプに着目して―	(瓜生)
嘉戸 容喜	集団に対する絵本の読み聞かせ方	(上月)
門野 真奈	旧体力テストからみた現代の女子大学生における体力・運動能力の実態 ―25年前の記録と比較して―	(新矢)
河野 明日香	子ども向けテレビアニメーション作品の実態と課題	(松崎)
川真田 百合子	発達障害児者に対する態度・イメージに関する文献研究	(倉本)
黒瀬 悠巴	音楽的成長の過程にみる多様な音楽経験 ―京大合唱団団員への聞き取り調査をもとに―	(岡林)
河野 有咲	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を育む木育玩具 「どうぶつむつむ」	(矢野)
小寺 佐和	カイヨワの遊びの4要素からみるコンピュータゲーム「ポケットモンスター」のおもしろさ	(松崎)
小松 葵	様々なニーズの子どもに応えるための環境遊具「もてる！あそべる！はこべる！まじかるまじきり」	(矢野)
郷 文乃	幼児の学びを展開させる支援方法 ―“科学する心”を育てる幼児教育支援プログラムへの応募事例の分析から―	(瓜生)
齋藤 実玖	女子大学生における足裏の形状とO脚の関係	(新矢)
阪口 和香奈	幼児における骨量と生活習慣との関連性	(間瀬)
佐藤 亜海	女子学生における骨量と運動習慣との関連性	(間瀬)
佐野 真唯	絵本を題材とした音楽制作 ―こぐまちゃんシリーズを中心に―	(神原)
篠原 あおい	エリック・カールがしかけ絵本で描く昆虫の世界	(今田)
下野 遥香	絵本を題材とした音楽制作 ―こぐまちゃんシリーズを中心に―	(神原)
下野 瑞起	女子大学生における家庭用ゲーム機器による運動効果について	(黒原)
白川 彩美	母親からの被養育経験が女子大学生のライフコース選択や 結婚観、仕事観、子育て観に与える影響	(倉本)
杉本 真優	幼稚園3歳児クラスにおける生活習慣の確立 ―片付け場面に着目した観察及び保育者のインタビューによる検討―	(古池)
杉安 あゆみ	女子大学生における姿勢の良し悪しと体格・体組成および体力の関係	(新矢)
千賀 みなみ	親子支援活動「ぴっばらんシリーズ」における事前調査及び効果測定導入に関する検討	(瀬々倉)
副島 萌々華	幼児における骨量と生活習慣との関連性	(間瀬)
高木 優花	身近な自然を感じる喜びを与えるパネル型絵本 「くだものいろいろ」	(矢野)
高木 里緒	幼児の学びを展開させる支援方法 ―“科学する心”を育てる幼児教育支援プログラムへの応募事例の分析から―	(瓜生)
瀧川 早紀	地域を結ぶ木育玩具 「よいしょ スポッ とんとんとん」	(矢野)
瀧川 なつみ	保育学生が感じる保護者への対人コミュニケーション不安 ―親子支援の経験に関する質問紙調査から―	(瀬々倉)
竹内 千尋	乳児との音楽的コミュニケーション ―母親の声による語り掛けに着目して―	(岡林)
竹田 つぐみ	らくがきゲームにおける誘発線と描画についての検討	(瀬々倉)
田中 杏奈	光と色の重なりを楽しむ壁面構成「ふしぎないろいろまど」	(矢野)
谷 若奈	子どもの音楽表現に関する一考察 ―こどもひろば「楽器と遊ぼう！」の活動を中心に―	(岡林)
辻 優月	家族の物語絵本におけるゴリラの役割 ―アンソニー・ブラウン作『すきですゴリラ』にはなぜゴリラが登場するか―	(今田)

辻 本 真 琴	アーノルド・ローベルの作品における「微妙さ」と「曖昧さ」を分析する — 「がまくんとかえるくん」シリーズを通して—	(今田)
常 光 里咲子	やなせたかしの作品に見られる人間観	(神原)
出 路 菜 月	「かいけつゾロリ」シリーズは絵本から児童文学への橋渡的存在になり得るのか	(松崎)
中 田 唯 未	幼児が示す感触遊びにおける抵抗感 — 「安心度」「夢中度」を手がかりに—	(瀬々倉)
長 坂 碧 依	学校の怪談 — 受け継がれるその内容—	(黒田)
西 尾 あ ゆ	屋内で体を動かす木育遊具 「ゆらりーフ」	(矢野)
西 川 陽 斐	想像力を育み安全な布製遊具 「やわらかとんねる」	(矢野)
西 倉 沙 弥	中川李枝子・山脇百合子姉妹の絵本が子どもたちに愛される理由 — 絵本「ぐりとぐらシリーズ」の作品分析—	(今田)
西 田 恵梨子	天然繊維を用いたプレイマットの制作 「ふわっとこっとんまっと」	(矢野)
西 村 美 咲	幼稚園・保育園と小学校における英語活動の実態と今後のあり方 — 文献等の調査から考える近年の特徴と課題—	(倉本)
西 本 佳世	母親の語り合いにおけるファシリテート — 「おしゃべり・さろん」の再検討—	(瀬々倉)
野見山 愛 弓	描画活動中における子ども同士の関わりが表現意欲に及ぼす影響 — 保育者によるアンケート調査から—	(瓜生)
長谷川 風 花	岡田よしとか作『うどんのうーやん』の作品分析 — 絵本における食べ物の擬人化と方言の役割—	(今田)
濱 田 佳 奈	現代における子守歌の在り方	(岡林)
氷 上 遥 香	ジェンダー・フリー保育の現状と今後の課題について — 保育者のアンケートより—	(瓜生)
日 野 真也子	幼児期における運動能力と食習慣との関連	(黒原)
檜 穂奈実	女子学生における骨量と運動習慣との関連性	(間瀬)
平 田 怜	成長期における視力に影響を及ぼす要因の検討	(間瀬)
平 塚 晴 花	地域の自然を取り入れた見て聞いて触れて楽しむおもちゃ 「カラフルーぴんぐ」	(矢野)
福 田 実 奈	乳児とオルゴール — Y児の観察を通して—	(岡林)
藤 岡 知 美	乳幼児のメディア利用・テレビ視聴と発達との関係 — 養育者に対する質問紙調査による検討—	(古池)
堀 井 優 希	自然に興味を持つための壁面構成 「フォレストカレンダー」	(矢野)
前 田 莉 沙	子どもを取り巻く音楽状況に関する一考察 — 音楽聴取形態の変化と流行する歌に着目して—	(岡林)
鉤 涼 佳	適切な手洗い・乾燥方法の検討 — 文献調査および菌の培養実験から—	(新矢)
松 浦 佑 衣	睡眠の質と身体活動量および体温の日内変動の関係	(新矢)
松 永 陽 奈	音楽経験と「音痴」の関係性	(神原)
松 野 悠 香	子どもの音楽表現に関する一考察 — こどもひろば「楽器と遊ぼう！」の活動を中心に—	(岡林)
三 木 穂 南	保育施設及び家庭における動物飼育経験が幼児の動物イメージ、動物への態度、社会性に与える影響 — 保育者の生き物への態度に着目して—	(古池)
南 有 香	睡眠の質と身体活動量および体温の日内変動の関係	(新矢)
三 原 彩 花	グリム童話「白雪姫」と絵本で出会うことの意義について	(今田)
宮 崎 奏 花	『バッテリー』から考える児童文学における天才	(今田)
宮 本 真 希	適切な手洗い・乾燥方法の検討 — 文献調査および菌の培養実験から—	(新矢)
柳 生 真 岐	女兒向けアニメの主題歌について — 『美少女戦士セーラームーン』シリーズを中心に—	(岡林)
養 父 千 慧	季節を感じて五感を育む立て掛け玩具制作	(岡林)

卒業論文題目

山口 夕芽	親子のコミュニケーションを育む乳幼児用寝具「ポカポカ ライフベッド」	(矢野)
山崎 柚香	幼児期における運動能力と睡眠習慣の関連性についての一考察 —体力テストおよび保護者へのアンケート調査に着目して—	(黒原)
山下 智穂	成長期における視力に影響を及ぼす要因の検討	(間瀬)
山村 綾花	親子の団らんを育む木の器「ほっこり膳」	(矢野)
山本 悠花子	短期間プログラムにおける「気になる子」と保育学生との関係づくり —ビデオ観察記録をもとにした検討—	(瀬々倉)
山森 友子	子どもの人形劇観劇減少の要因と課題	(松崎)
八幡 春菜	〈エビカニクス〉の特徴とその魅力	(神原)
幸 加菜子	バウムテスト研究における解釈仮説の検討 —コッホ, ストラ, ボーランダー, カスティーラの比較と臨床・研究上の課題—	(古池)
横井 友美	幼少期の自然体験と青年期のパーソナリティとの関連 —共感性・思いやりについての検討—	(古池)

注) このリストは令和2年12月24日に提出された卒業論文・制作題目に基づいて作成しています。

〈投稿規定〉

平成16年4月1日 制定
最近改正 令和元年5月29日

- 第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。
- 第2条 本誌は、本学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び発達教育学部の教育研究活動に関する情報、その他（以下、論文等という）を掲載する。
- 第3条 論文等の掲載は、教育学科教育学専攻、養護・福祉教育学専攻、音楽教育学専攻、児童学科、心理学科の順に行う。
- 第4条 本誌への投稿資格は次の通りとする。
- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
 - (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
 - (3) その他、編集委員会が特に認めた者。
- 第5条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。
- 第6条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのために必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。
- 第7条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。
- 第8条 執筆者に抜き刷り30部を贈呈する。それを超える部数は実費負担とする。
- 第9条 本誌に掲載された論文等は、原則として全文又はその一部を電子化し、京都女子大学学術情報リポジトリサーバ或いはその他のコンピューターネットワーク上で公開する。
- 2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。但しこれらの許諾は取り消すことができる。

附則

この規定は、平成26年2月18日教授会後、学部所属教員の下承済み。

附則

この規定は、令和2年4月1日から施行する。

編 集 委 員

委員長 玉村公二彦

委 員 岩崎保之 ガハプカ奈美 下津咲絵 瀬々倉玉奈

(五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 17 号

令和 3 年 2 月 5 日 印刷

令和 3 年 2 月 10 日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 株式会社 図書印刷 同 朋 舎